

GGOS 時代に向けた宇宙測地解析戦略 Strategies for Space Geodetic Data Analysis in the Coming GGOS Era

大坪 俊通^{1*}; ホビガー トーマス²; 関戸 衛³; 久保岡 俊宏³
OTSUBO, Toshimichi^{1*}; HOBIGER, Thomas²; SEKIDO, Mamoru³; KUBOOKA, Toshihiro³

¹一橋大学, ²Chalmers University of Technology, ³情報通信研究機構

¹Hitotsubashi University, ²Chalmers University of Technology, ³National Institute of Information and Communications Technology

GGOS (Global Geodetic Observing System) の掲げる汎地球規模での位置・重力・回転の高精度決定を実現するため、中～長期的に採るべき解析のあり方について、考える必要がある。

特に、数値目標とされている位置精度 1 mm および速度精度 0.1 mm/year での地球基準座標系の構築については、乗り越えるべき課題が多い。特に、複数の宇宙測地技術について、それぞれの特長を生かした統合的な解析が求められている。例えば、

- ・地上局の動きはもとより、人工衛星や準星の動きまで正確にモデル化すること
 - ・解を比較・統合すること
 - ・地上であるいは衛星上における、異種データ中の共通パラメータを抽出すること
 - ・解析結果から観測体制への要求を行うこと
 - ・利用者にとっての使いやすさを求め、利用者との整合性を保つこと
- などについて、具体的な事例とともに紹介する。

キーワード: GGOS, 宇宙測地

Keywords: GGOS, Space Geodesy